



西河技術経営塾(沼田校)4期生募集

実践経営スクール

主催 : 一般財団法人アーネスト育成財団
協賛 : 小坂建設株式会社(群馬県沼田市)
後援 : 沼田市(申請中)

変革をつくる「技術経営学」を学び、
豊かな社会づくりに取組むことができる技術経営人財を養成する。
地方の企業を元気にする。

西河技術経営塾(沼田校)での学びと成果

1. 日本的技術経営研究の成果を学ぶ。
2. お金は企業の血液であることを学ぶ。
3. 売上を10倍にする西河技術経営学を学び、雇用を増やし、税金を払う。
4. 実践的思考、変革的思考を受講生参加型で育成する。
5. 誠実な経営人財を育成する。
6. 経営者を目指す管理者が学び、学んだことをすぐ経営に生かす。

● 講義概要

講義と演習を組み合わせ、実践的参加型学習に取り組む

本講座は『西河「技術経営学」入門(芙蓉書房)』を教材に使用します。技術経営学を学習し、実務で生かすことが出来るよう演習に取り組めます。技術経営を概括すると、エンジニアリング(技術)が経営の中心にあり、その周りに「企業観」「ビジネスモデル」「市場創出」「中長期計画」の4つの経営課題が配置されています。

経営を支えている技術の存在を学ぶことで、未来を見据えた戦略的経営に取り組むことが出来るようになります。技術経営は、会社の未来を切り開く未来学です。コトづくりでもモノづくりでも、エンジニアリングが経営を支えています。エンジニアリングは、経営を支える具現力であります。企業理念、ビジネスモデル、中長期計画、市場創出は、エンジニアリングと関わり合いを持つことで機能しています。

1. 期間 : 令和5年(2023年)4月~9月
2. 実施日 : 土曜日、月2回程度、12回開催(裏面に講義日程(予定)を示す)
3. 時間 : (1) 講義1 : 午前9時30分~午前11時00分
(2) 講義2 : 午前11時10分~午後0時40分
(3) 演習1 : 午後1時40分~午後3時10分
(4) 演習2 : 午後3時20分~午後4時50分

地方の企業が元気になって、日本は活性化する

財団を作ろうと思ったのは「起業が少ない」、そのためには「経営ができる人財を育成しよう」「経営ができる人財を育成する機関が日本には見当たらない」という問題に気付いたからです。日本を元気にするには、過疎化する地方の再生が課題の一つです。地方の会社を元気にし、収益をあげ、雇用を増やし、税金を沢山払える会社にする。そのための人財育成に、本年も引き続き、群馬県沼田地区の経営人財の育成に取組むことにしました。3期生から沼田校は、代々木校と同じカリキュラムとし、実務に役立つ「実践経営スクール」を開校します。
(西河洋一塾長・理事長)

● 開講日、講義名称と演習課題

No	月日（予定）	講座名称	講師	演習課題
	2023年	<第1部 企業観>		
1	4月1日	土 開講式：開講にあたって	西河	
2		土 (第1章) 技術経営とは何か	小平	自己紹介と会社案内
3		土 (第2章) 企業文化とアイデンティティ	小平	塾で学びたいこと、現状の問題と課題
		<第2部 ビジネスモデル>		
4	4月15日	土 (第3章) ビジネスモデルづくりを学ぶ	小平	自社のビジネスモデルを報告する
5		土 (第4章) 企業財務入門	小平	自社の技術的強みを報告する
6	4月22日	土 (第6章) 西河技術経営のルーツを学ぶ	西河	西河塾長の講義を受講して3問以上の質問を考える
7		土 (第5章) モノづくりとコトづくり	小平	自社のビジネスモデルを分析する
		<第3部 市場創出>		
8	5月13日	土 (第8章) 新規の市場を創生する	松井	事業計画を報告する
9		土 (第9章) サービスビジネス入門	松井	自社の財務諸表を分析する
10	5月27日	土 (第7章) コストハーフ戦略	小平	新規の事業戦略を検討する
11		土 (第10章) 収益モデルに基づいた中長期戦略	小平	サービスイノベーション戦略を報告する
12	6月3日	土 (第11章) グローバル経営戦略	山中	原価低減、経費削減策を報告する
13		土 (第13章) ICTを利用したビジネスモデル	山中	中長期戦略を報告する
14	6月17日	土 (第12章) 中小企業のブランド構築戦略	小坂	ロボットの活用、自動化などの戦略を報告する
		<第4部 中長期計画>		
15		土 (第15章) 中小企業のDX戦略	小平	ICT戦略（即実行、次年度、中長期）
16	7月1日	土 (第14章) エンジニアリング・ブランドづくり	小坂	自社または商品の広告を作成する
17		土 (第16章) 海外を知る	浅野	自社のブランド戦略を報告する
18	7月15日	土 (第17章) 商品開発プロジェクトマネジメント	小平	自社のDX対応や抱えている問題・課題を報告する
		<第5部 個別研究・成果報告>		
19		土 (第20章) 報告書と論文の書き方	小平	研究報告書のテーマを決定する
20	7月22日	土 (第18章) 中小企業のERP戦略	小平	エンジニアリング・ブランド戦略を立案する
21		土 (第19章) マネジメントとリーダーシップの違い	小平	研究報告書の概要レビュー（Part 1）
22	8月19日	土 (第21章) 人材育成と設備投資	小平	研究報告書の概要レビュー（Part 2）
23		土 (第22章) 会社を取り巻く法令と規則	小平	
24	9月2日	土 課題発表会：審査、修了式	受講者	審査会：課題発表会、修了式

● 講師

講師：西河洋一（にしかわ よういち） 芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科(MOT)修了、(株)アーネストワン取締役会長、当財団理事長。一級建築士。

講師：小平和一郎（こだいら かずいちろう） 芝浦工業大学大学院工学研究科博士(後期)修了(博士(学術))、(株)イー・ブランド21代表取締役、当財団専務理事。敬愛大学経済学部特別講師。

講師：山中隆敏（やまなか たかし） 芝浦工業大学大学院工学研究科博士(後期)修了(博士(工学))、(株)メディカルパーフェクト代表取締役社長、CAMBODIA JAPAN INTERNATIONAL COLLEGE 学長、当財団理事。

講師：浅野昌宏（あさの まさひろ） 芝浦工業大学電子工学科卒、当財団理事。一般社団法人アフリカ協会副理事長。

講師：松井美樹（まつい みき） 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科修了。元やる気スイッチグループ商品開発部長など。

進行・講師 小坂哲平（こさか てっぺい） 芝浦工業大学工学部土木工学科卒、小坂建設(株)代表取締役。一級土木施工管理技士、一級建築施工管理技士。当財団評議員、西河技術経営塾研究科修了・特待生。

● 西河技術経営塾(沼田校)4期生募集(2023年4月～2023年9月)要領

- (1) 募集期間：2023年2月～2023年3月25日
- (2) 会場：小坂建設内事務所（群馬県沼田市上沼須町107番地2）
- (3) 受講料：17万円（税込み）（申込を頂いたら、後日請求書をお送りします。宛先が会社の場合は明記して下さい）
- (4) 募集定員：最大7名（定員になり次第〆切となります）
- (5) 応募資格：年齢 28～50歳程度、仕事に従事
- (6) 申込方法：氏名、年齢、性別、所属、職制、住所、電話番号、Eメールなどを明記して、Eメール（office@eufd.org）またはFAX（03-6276-2424）にて、申込みをお願いします。